

国民健康保険の現状

市町村国保の収支状況(医療給付分)

科 目		平成19年度 (実績)	平成20年度 (見込)	増減額	前年度比
		億円	億円	億円	%
単年度収入(経常収入)	保険料(税)	35,034	28,011	▲7,023	80.0
	国庫支出金	30,892	28,277	▲2,615	91.5
	療養給付費交付金	26,221	8,936	▲17,285	34.1
	前期高齢者交付金	-	24,365	24,365	-
	都道府県支出金	8,124	7,407	▲717	91.2
	一般会計繰入金(法定分)	4,348	3,919	▲429	90.1
	一般会計繰入金(法定外)	3,804	3,668	▲136	96.4
	共同事業交付金	12,890	13,858	968	107.5
	直診勘定繰入金	6	3	▲3	50.0
	その他	380	341	▲39	89.7
	合 計	121,699	118,785	▲2,914	97.6
単年度支出(経常支出)	総務費	2,269	2,002	▲267	88.2
	保険給付費	83,253	83,382	129	100.2
	後期高齢者支援金	-	14,256	14,256	-
	前期高齢者納付金	-	19	19	-
	老人保健拠出金	22,404	3,331	▲19,073	14.9
	保健事業費	406	840	434	206.9
	共同事業拠出金	12,874	13,843	969	107.5
	直診勘定繰出金	35	43	8	122.9
	その他	1,038	614	▲424	59.2
合 計	122,280	118,329	▲3,951	96.8	
単年度収支差(経常収支差) (A)	▲581	456	1,037		

赤字補填のための一般会計繰入金 (B)	2,556	2,585	29	101.1
赤字補填のための一般会計繰入金を除いた場合の 単年度収支差(経常収支差) (A)-(B)	▲3,137	▲2,129	1,008	

(出所)国民健康保険事業年報(保険局調査課)、国民健康保険事業実施状況報告書(保険局国民健康保険課)

(注1)平成20年度については速報値であるため、数値は変わり得る。

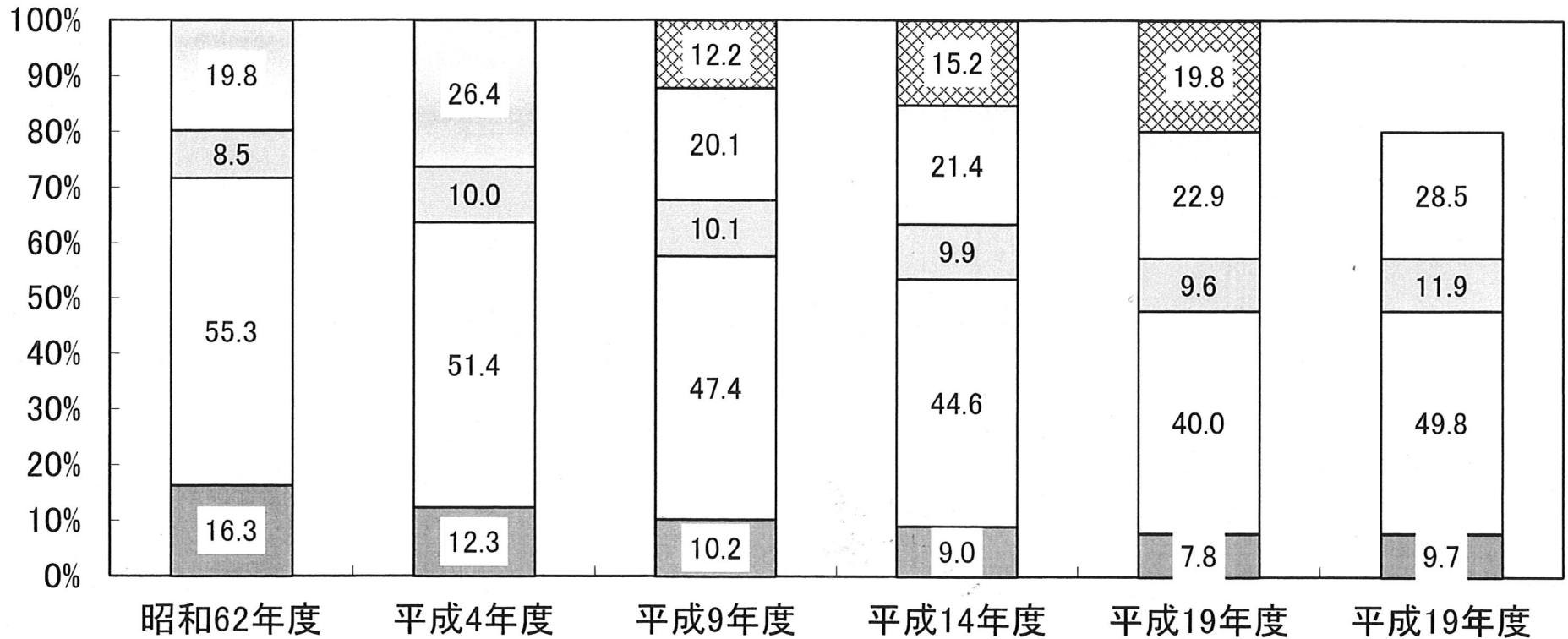
(注2)端数の関係上、合計及び収支差がずれることがある。

(注3)前期高齢者交付金、後期高齢者支援金、前期高齢者納付金及び老人保健拠出金については、当年度概算額と前々年度精算額を加えたものとなっており、平成19年度の精算は平成21年度に、平成20年度の精算は平成22年度にそれぞれ行われる。

(注4)「赤字補填のための一般会計繰入金」とは、収入の「一般会計繰入金(法定外)」のうち赤字補填を目的とした額である。

(注5)翌年度に精算される国庫負担等の額を調整している。

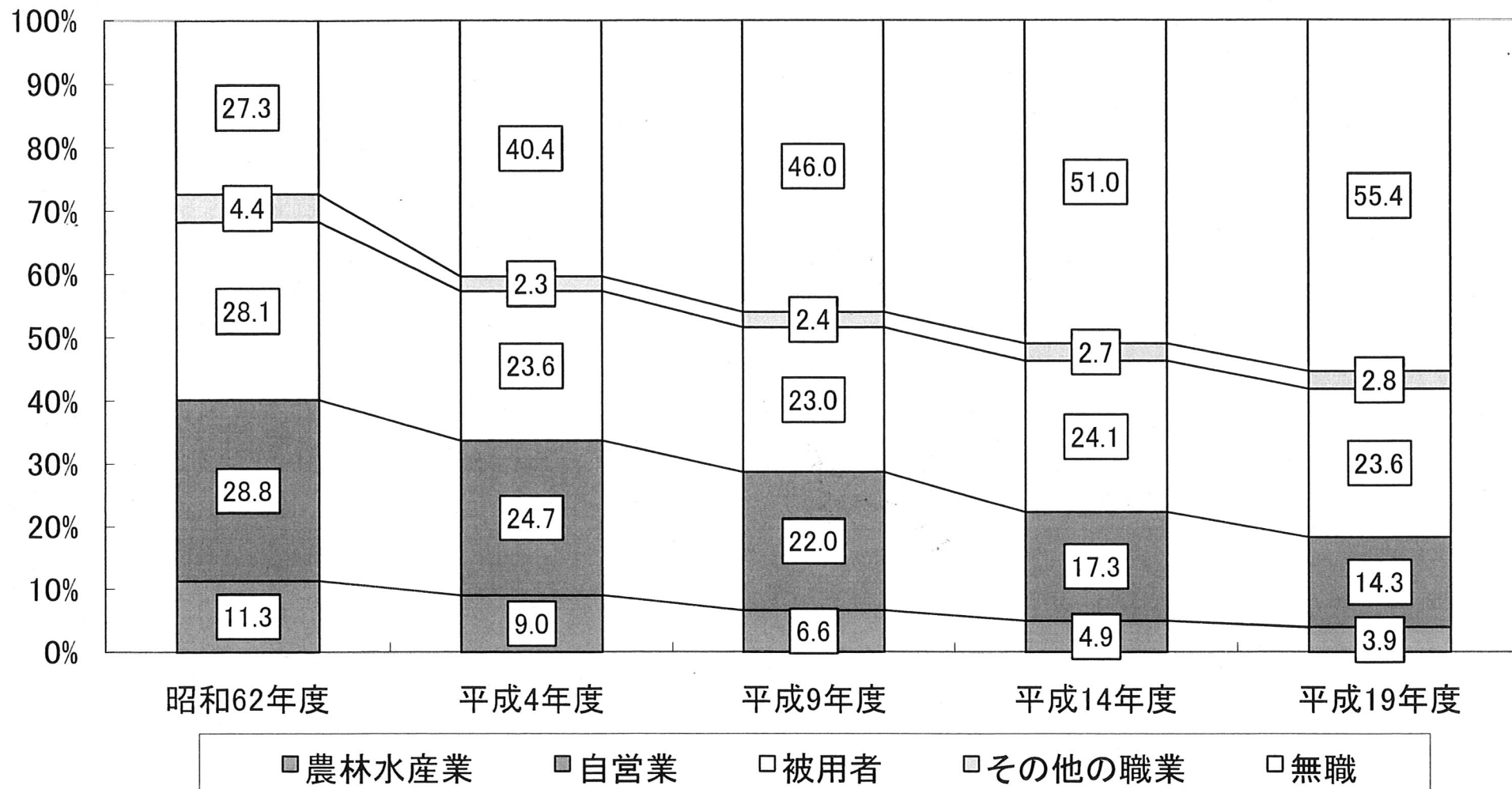
市町村国保被保険者の年齢構成の推移



- 14歳以下
- 15歳以上59歳以下
- 60歳以上65歳未満
- 65歳以上75歳未満 (S62, H4は65歳以上)
- ▣ 75歳以上

(資料)厚生労働省保険局「国民健康保険実態調査」

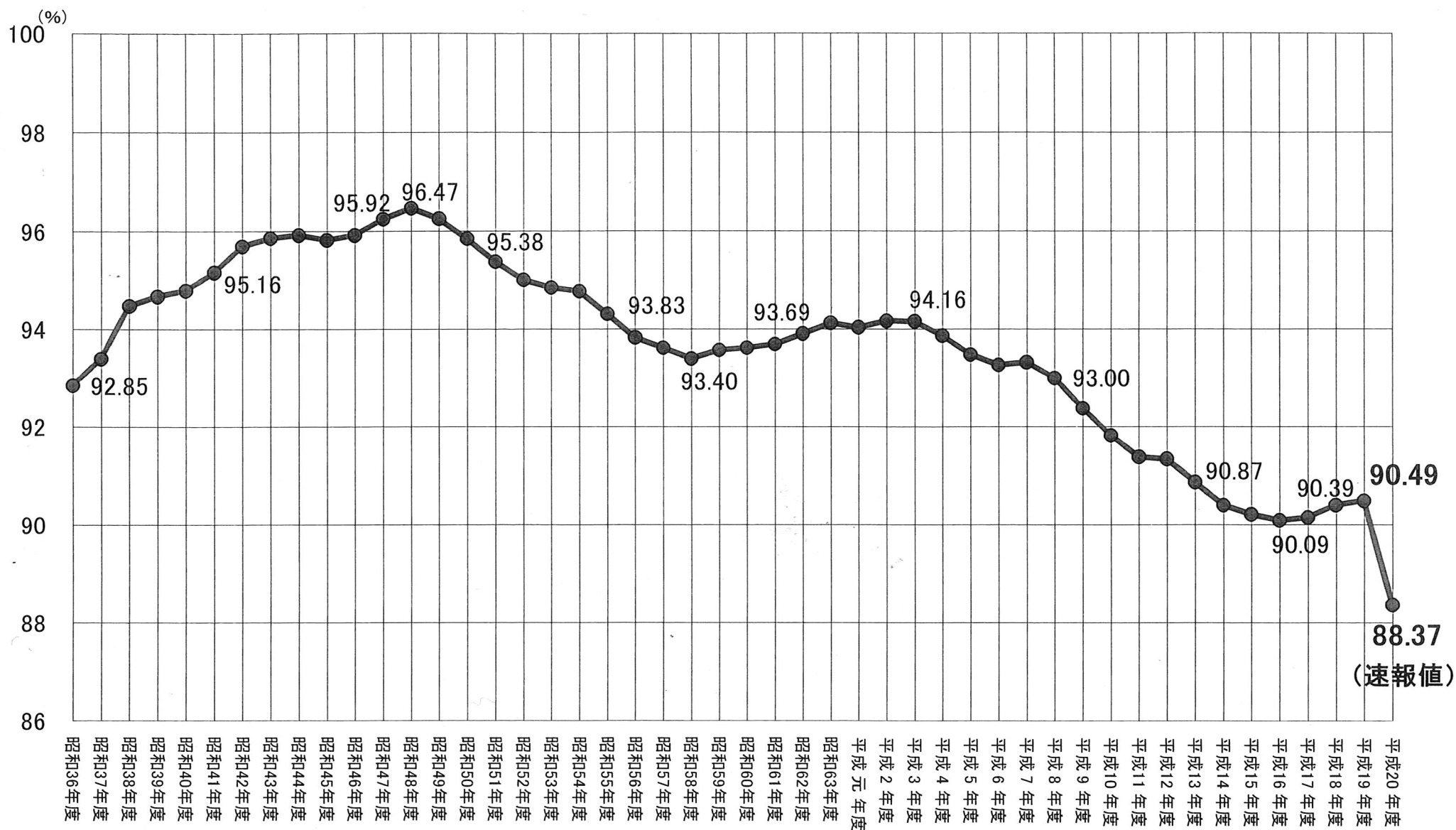
世帯主の職業別世帯数構成割合の推移



(資料) 厚生労働省保険局「国民健康保険実態調査」

(注) 擬制世帯を除く。

市町村国保の保険料(税)の収納率(現年度分)の推移



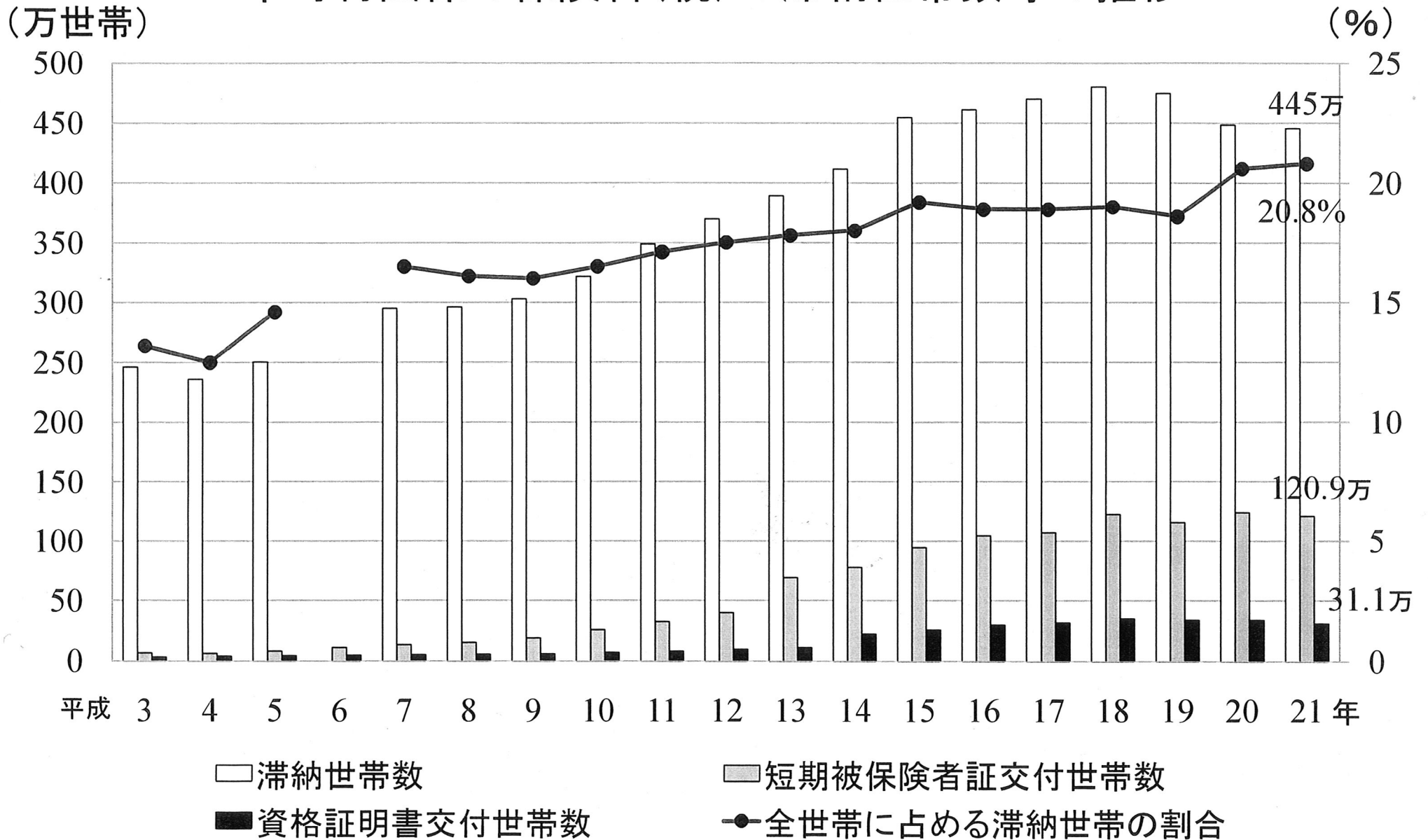
(出所) 国民健康保険事業年報(保険局調査課)、国民健康保険事業実施状況報告書(保険局国民健康保険課)

(注1) 平成20年度については速報値であるため、数値は変わり得る。

(注2) 収納率は、居所不明者分調定額を控除した調定額を用いて算出している。(小数点第2位未満四捨五入)

(注3) 平成12年度以降の調定額等は、介護納付金を含んでいる。

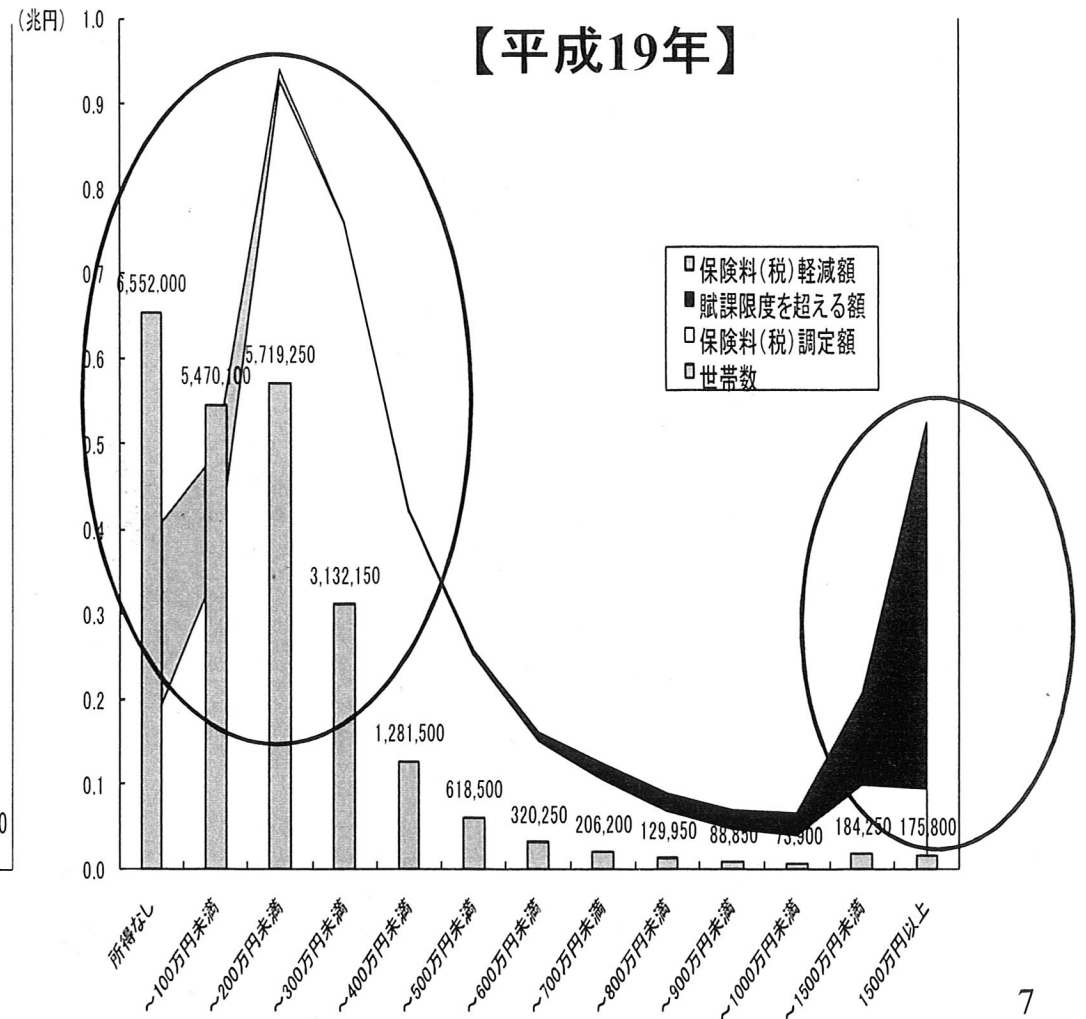
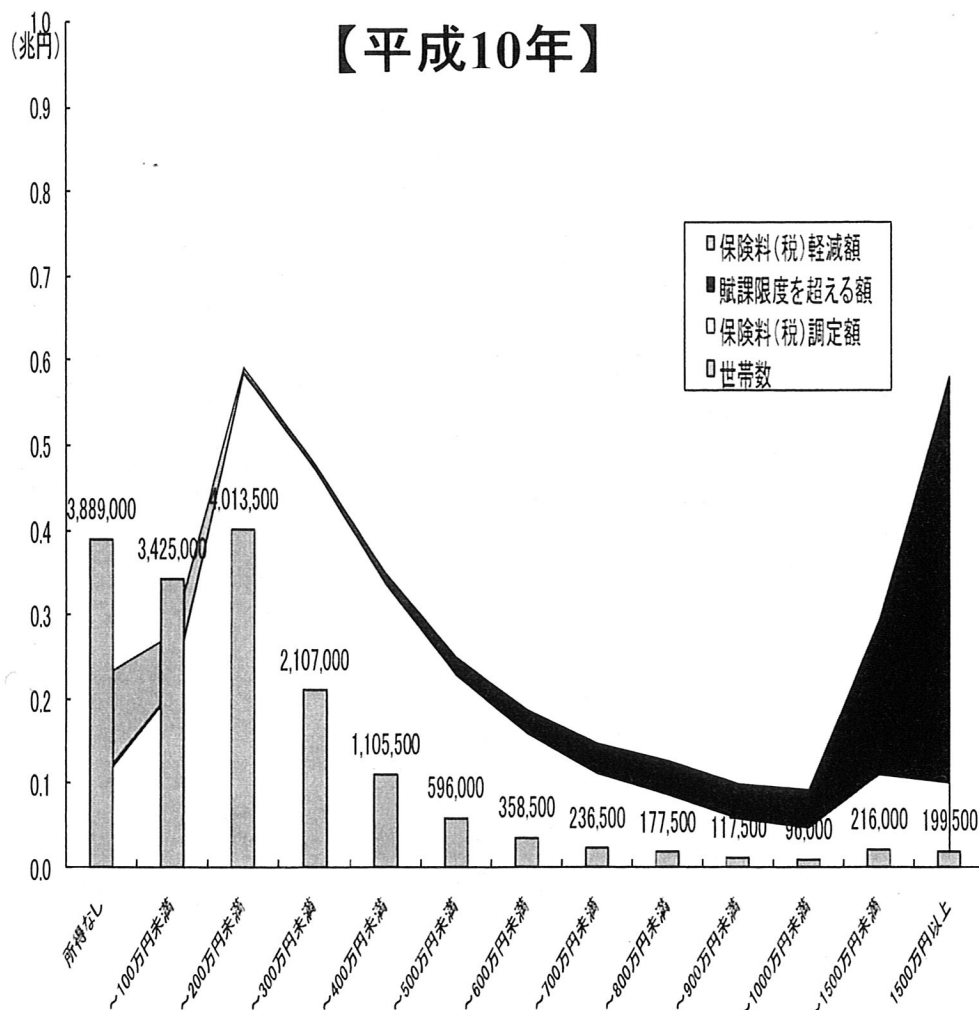
市町村国保の保険料(税)の滞納世帯数等の推移



(出所) 保険局国民健康保険課調べ
 (注) 平成6年の滞納世帯数については、調査していない。

市町村国保の所得階級別保険料(税)調定額等の変化

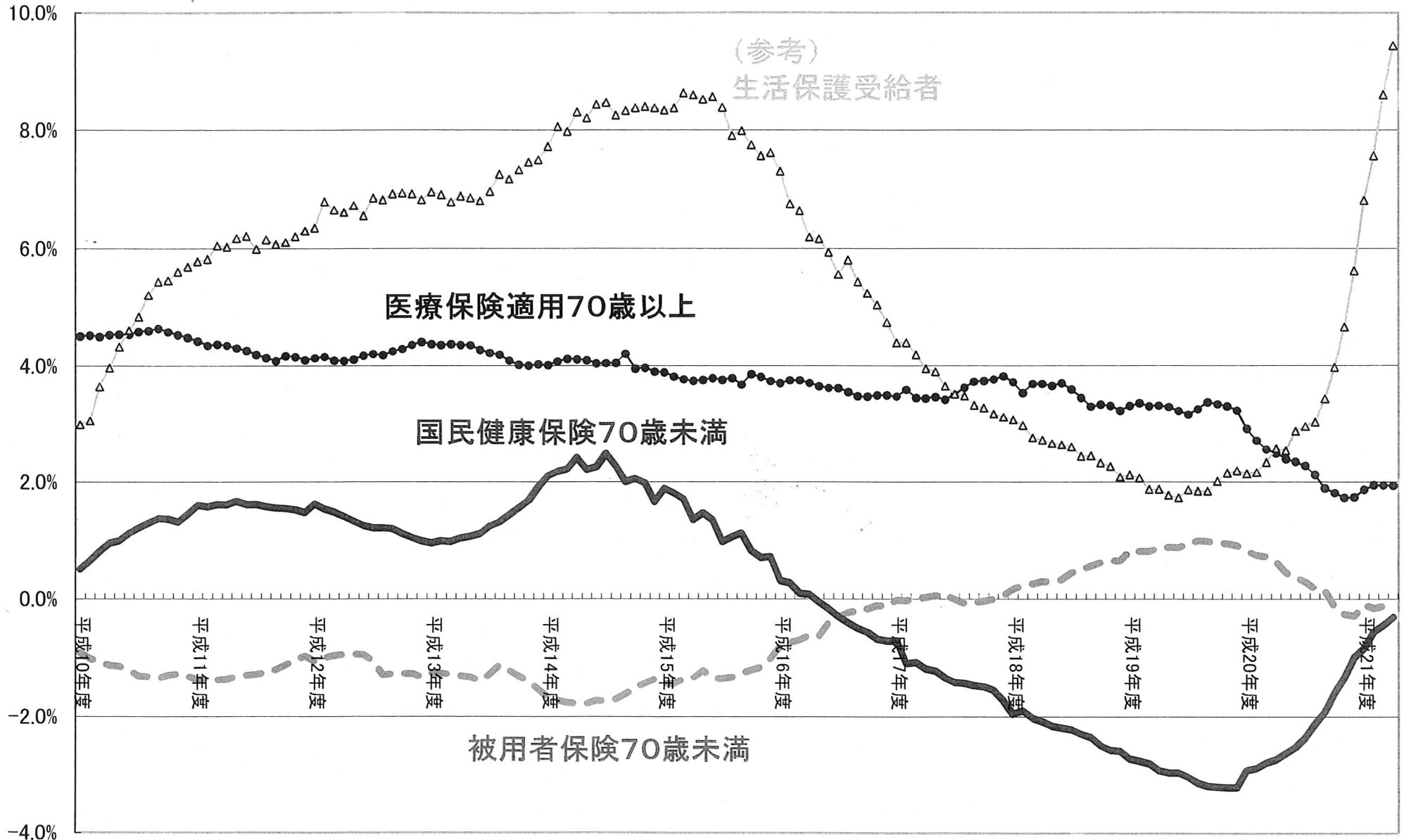
500万円未満、特に300万円未満の世帯が大きく増加。これに伴い、100～300万円層の調定額が大きく増加する一方、軽減額も大きくなった。他方、賦課限度を超える算定額は、依然として一定の割合を占めている。



(出所)国民健康保険実態調査報告(保険局調査課)

医療保険の被保険者数等の伸び率(対前年同月比)

対前年同月比



(出所) 保険局調査課調べ

(注) 直近2年程度の計数については、速報値等を利用して計算している。今後、数値が置き換わることがある。

国民健康保険制度の課題と見直しの方向性

【国保加入者の状況】

- 低所得層の増加
- 非正規労働者や失業者の増加
- 低中所得層の負担増、保険料収納率の低下、滞納世帯の増加

【国保制度の課題】

- 保険財政の安定化
- 低中所得層の保険料負担の軽減
- 保険料格差の是正
- 後期高齢者医療制度廃止への対応

【当面の見直しの方向】

- 財政基盤の強化
- 事業運営の広域化(都道府県単位化)
- 都道府県の権限と責任の強化
- 地域の実情に応じた制度運営